

単元名	農作物の魅力を発信しよう！		学年	5年生
内容	A_ものづくり ア 新製品の企画提案型		総時間数	35
目標	(1)農業に携わる人々に話を聞いたり、農作業体験をしたりすることを通して、農業に関する知識や農作物を利用したレシピ開発の技能を身に付ける。 (2)食に関する課題解決に必要な情報を収集・整理・分析し、試行錯誤しながら「Well-being」につながる製品のアイデアを創造・発信することができる。 (3)農業に携わる人々との関わりを大切にするとともに、自分や他者のよさを生かしながらアイデアの創出に主体的に取り組み、よりよい未来を創造しようとする態度を養う。			
指導計画の概要				
学習過程	主な学習活動			外部連携・教材等
コンセプト	・農業について知っていることを共有したり、疑問を見つけたりする。 ・農業に携わる方々の話を聞いたり、実際に体験をしたりする活動を通して、農業の現状や生産者の思い、課題に気付く。 ・現在の生活や社会の困りごとを調べ、農作物をどのように生かすとよりより生活につながるのかを考え、コンセプトを設定する。			・地域農家
デザイン	・コンセプトを基にした農作物の活用やレシピなどのデザインを考える。 ・グループで話し合いながら、考えたことをプレゼンテーションにまとめる。 ・農業関係者や調理員などに情報の発信を行い、協働的に情報収集やデザインの改善に取り組む。			・地域農家 ・調理員
クリエイション	・デザインしたレシピを実際に調理する。 ・分かりやすく情報発信するために必要な方法に関する知識・技能を身に付ける。 ・デザインしたものを他者に試食してもらい、感想を基にレシピや提案方法をさらに改善していく。 ・プレゼンできる資料を作成し、自分たちの考えた魅力を地域の方々へ伝え、フィードバックをもらう。			・地域農家 ・大田区教育委員会 ・学校評議員
本単元を行うために授業時数を削減する教科等、本単元で補完する内容及び削減する授業時数				
教科名等	本単元で補完する内容			授業時数
国語	書くこと	・引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。		8
	話すこと・聞くこと	・資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。 ・互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすること。		
社会 (第5学年)	農業	・生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などに着目して、食料生産に関わる人々の工夫や努力を捉え、その働きを考え、表現すること。		4
算数 (第5学年)	データの活用	・目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して判断し、その結論について多面的に捉え考察すること。		2
理科 (第5学年)	生命・地球_第5学年	・植物の育ち方について追及する中で、植物の発芽、成長及び結実とそれらに関わる条件についての予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現すること。		3
家庭	衣食住の生活	・おいしく食べるために調理計画を考え、調理の仕方を工夫すること。		3
総合	・地域の人、もの、ことの中から問いを見いだし、その解決に向けて見通しをもって調べ、集めた情報を整理、分析し、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付けること。			15